

平成22年度 九州電波監視業務統計

図1-1 混信妨害申告の種類別内訳

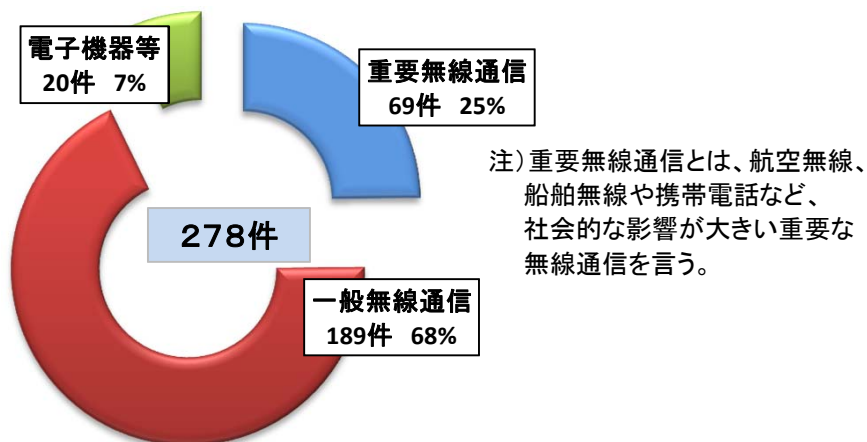


図1-2 混信妨害申告の県別内訳

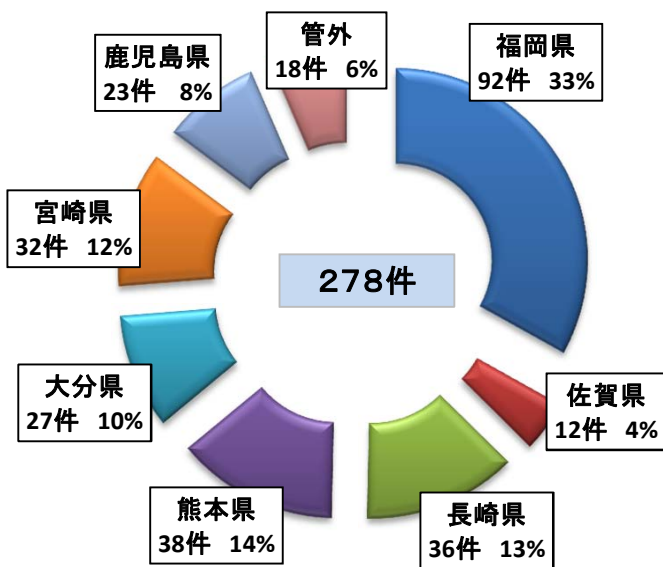


図1-3 混信妨害申告の年度別推移

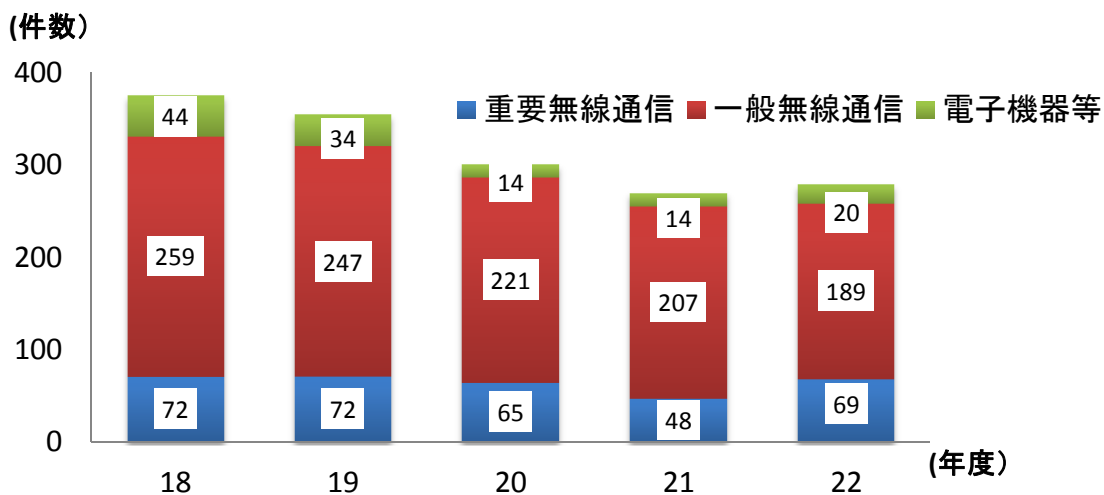
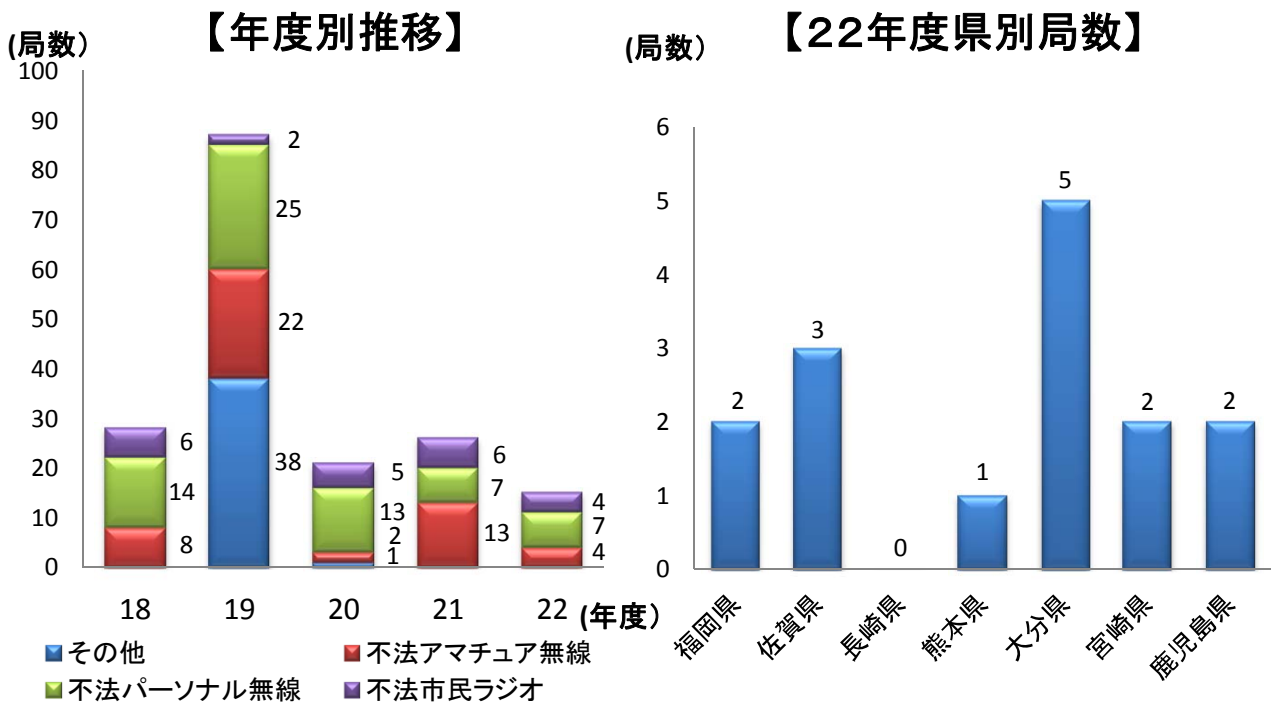
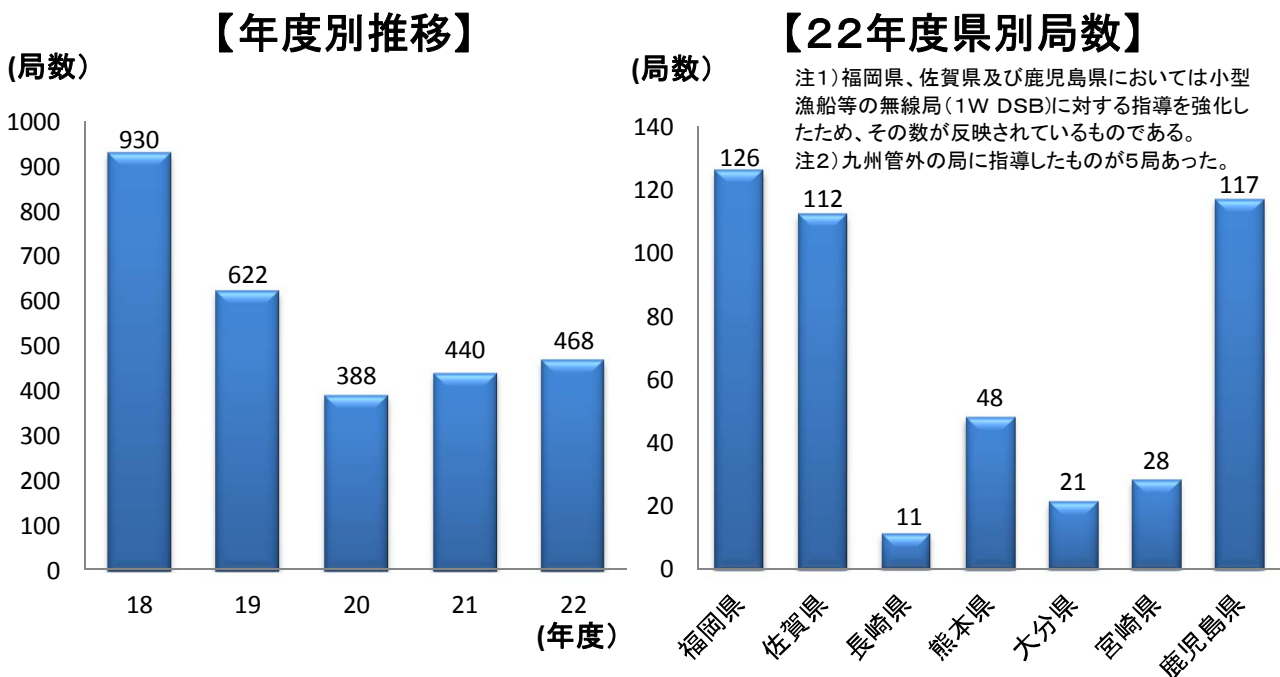


図2-1 警察署・海上保安部との共同取締りによる摘発局数



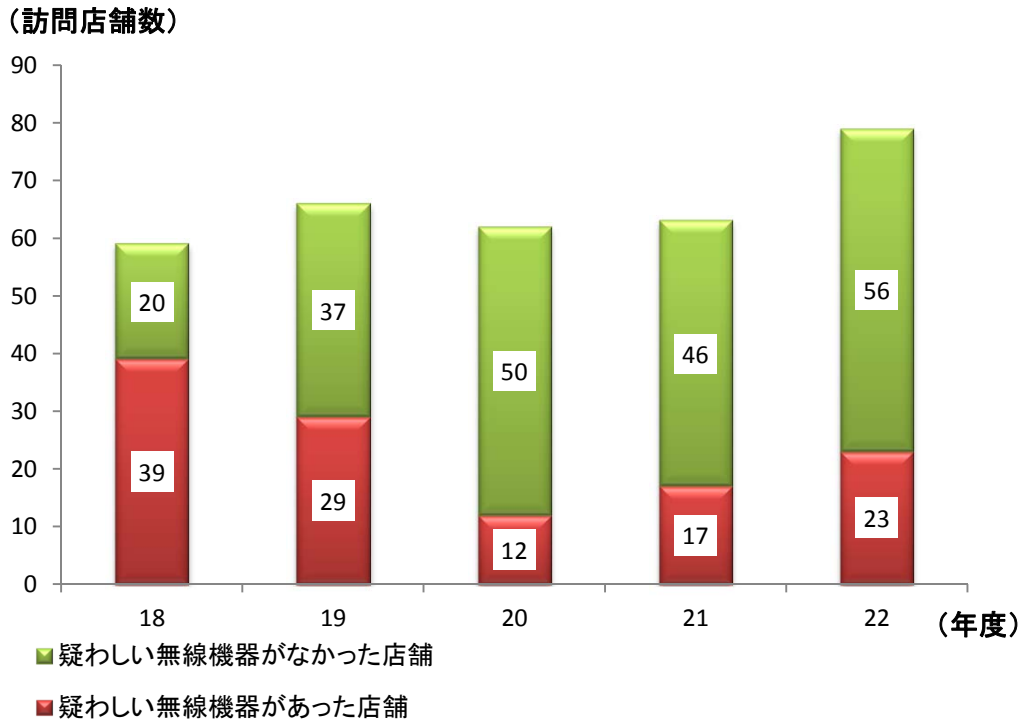
- ・ 不法アマチュア無線： 免許を受けずに開局し、指定された以外の電波を使用。警察、消防、救急用無線に混信妨害。
- ・ 不法パーソナル無線： 正規のパーソナル無線を改造し、指定された以外の電波を使用。携帯電話、防災行政無線に混信・妨害。
- ・ 不法市民ラジオ： 電力増幅器を付加し、非常に強力な電波を発射。テレビ、ラジオ等に混信・妨害。

図2-2 不法無線局に対する文書指導実施局数



アンテナの視認等により確認された不法無線局に対しては、電波法令を遵守するように文書指導を実施。

図3 電波利用ルールの周知・啓発 訪問店舗の年度別推移



※ 疑わしい無線機器の多くは、ワイヤレス方式の音響・映像用途の無線機器、外国規格の無線機
※ 平成20年度までは家電量販店及びディスカウント店を計上、平成21年度からは無線機販売店も含めて計上